

HA セットアップの Postgres ユーザ向けにパスワードを必要とする方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料にパスワードが設定される高可用性の postgres ユーザに (HA) アクセスするように要求する方法を記述されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cloud センター < v4.8.0.1
- 4.8.0.1 アップグレード

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

HA で 4.8.0.1 が影響を受けていなかった後 Cloud センター マネージャ (CCM) データベース (DB) が 4.8.0.1 より古いバージョンのための CCM とは別にどこにあるまたはより古いバージョンから 4.8.0.1 に (きれいなインストールすればか設定して下さい) CCM データベースのユーザがそれに接続した場合パスワードを必要としない postgres をアップグレードしたら。これは潜在的なセキュリティーの脆弱性です。

解決策

各 DB 例でこれらのコマンドを実行して下さい:

```
エコー 「*: *: *: 複製: パスワード」 >> /root/.pgpass
```

```
エコー 「*: *: *: 複製: パスワード」 >> ~postgres/.pgpass
```

```
SED - i 's/(0.0.0.0.*)trust\1md5/ /var/lib/pgsql/9.5/data/pg_hba.conf
```

変更されなかったら、pg_hba.conf に md5 に md5 に変更される信頼のすべての例が手動で変更するワード信頼をあったことを確認して下さい。

SU – postgres

```
/usr/pgsql-9.5/bin/pg_ctl リロード
```

```
\q
```

これはコンフィギュレーション変更が付いている postgres をリロードし、データベースがパスワードなしの認証のために開いていないことを確認します。

CCM に問題が解決されるログイン確認でき、このコマンドをかどうか実行します。postgres パスワードのためにプロンプト表示される場合、変更が正常だったこと確実にであって下さい。

```
psql - h IP_ADDRESS_OF_DATABASE - U postgres
```